

自然と文化科 活動記録 (自然観察会)

| | | |
|----|---|---------------|
| 日時 | 2024年2月23日金 10:00~16:00 (雨のち曇りのち雨8度↓) | 担当者 |
| 場所 | 私市植物園： 3, 4班集合10:00 1, 2班集合 9:40 ~15:00 解散 | 文・写真 畑 寿々子 |
| 備考 | 参加者数 1班13名+実習生2名 2班10名 3班7名 4班9名 | 合計41名 |

- ・ リーダー 全体：星田 1班：上田 2班：星田 3班：早川 4班：大野 (敬称略)
 - ・ 私市植物園は、交野市にある大阪市立大学理学部附属植物園から4月1日名称変更で大阪公立大学植物園となり研究施設の植物園である。
 - ・ 10時京阪電車交野線「私市駅」集合 気温も低い雨空の中、傘を差し雨具で出発
0. 芝生広場：公園入り口 ヒポクラテスノキ (葉柄内芽) ギリシャのコス島でプラタナスの下ヒポクラテス (医学の父といわれる) が弟子たちに教えを説いた所のDNAを持つプラタナス
1. 作業棟 クスノハカエデ (唯一常緑の楓) ムクロジ科 かなり落葉していたがプロペラ多数証拠
2. 果樹見本園 シナアブラギリ (油利用)・イワテヤマナシ・マメナシなど果実残っている
2~3の間 (満開の梅林を通り抜けて)
マメキンカン・ハリエンジュの冬芽 (葉痕内に隠芽、悪魔の顔似)・ソテツ (雌株雄株写真)
イチョウ (冬芽維管束唯一2個、短枝葉の束生痕)・ヒマラヤスギ (球果)
ゲッケイジュ (蕾)・トゲナシハリエンジュ・テンダイウヤク (花)・ウスギモクセイ (花)
3. 桜山経由 日本産樹木見本園
常緑樹 クリハラン。シノブ (シダ)・ヤマビワ (アワブキ科果実、ビワはバラ科)・
バクチノキ (樹皮の剥がれ) モクレイシ (雄株、雌花序)・
暖地系→クスドイゲ (ヤナギ科 果実)・カカツガユ・アカガシ・シイモチ
4. 落葉樹
ハクサンボク (果実)・ウグイスカグラ (花)・ムクロジ (果実が落ちている、冬芽♡サル顔)
コクサギ・ハラノキ・イボタノキ・トサミズキ・ヒュウガミズキ・サウフタギ・ダンコウバイ・
アブラチャン (花芽葉芽)・クロモジ (花芽葉芽)
・ヤマコウバシ (混芽、葉柄の元緑)・ニワトコ (展葉)・カナクギノキ・
イヌシデ (有毛)・アカシデ・クマシデ (実大)・クマノミズキ・ホオノキ・オニグルミ・
ツノハシバミ (花)・ハシバミ・
- 4~6間 ツバキ・竹の種類色々・ユリノキ (実と冬芽)・
ハクサンボク (果実)・イイギリ (果実)
5. 花木園 レンギョウ、マンサク花なし
6. ユリノキ広場 (昼食・トイレ)
メタセコイア (三木博士の説明板)・セコイア・イイギリ・ユリノキ
- 6~7の間 ハンカチノキ・タブノキ・・・スギ・ヒノキ・
7. 山野草園 キクバオウレン (花)・セントウソウ (花)・キクザキイチゲ (花)・ミスミソウ (葉)
7~0を通過して8の間 バリバリノキ・ヒメユズリハ・タブノキ・ユサン・
湿地植物の近く モクマオウ・ネコノツメ (ノウゼンカズラの蔓植物必見。三本爪)
スイショウ (水場好きの松) ・スラシュ松 (トウヒ似実)
- 星田さんの資料で記録を助けてもらいました
 - その他の観察写真についてはHP掲載の橋本さんの「観察の眼」を是非ご参照下さい
 - 前日雨50%中止なのに、当日50%で中止にならないのは意味が理解できません。

